

ExcelでDPCデータ分析① 自院のDPCデータを活用しよう！

国立病院機構本部 今井 志乃ぶ

医療経済研究機構 清水 沙友里

2016/8/29 DPCサマーセミナー



セミナー当日に手元にあると、よりいっそう分析手法が身につきます！



DPCに関する基礎知識

～DPCについて知ろう

Excelを駆使

自院のDPCデータを活用する

～まずは自院の特徴を知ろう

Section1 データを用意して集計・分析にトライ

Section2 基礎・応用で分かる集計・分析の実際

Excelを駆使

厚生労働省のDPC公開データを活用する

～自院の実力・地域での位置づけを知ろう

Section1 データを用意して集計・分析にトライ

Section2 基礎・応用で分かる集計・分析の実際

伏見清秀 監修・今井志乃ぶ 著
／日経ヘルスケア 編

価格：本体9,200円＋税

- A4変型、● 約200ページ
- 書籍＋CD-ROM 1枚

本プログラムの内容

1日目（自院のデータを活用しよう！）

DPCデータ分析概論、分析に必要な前処理

Lesson1：MDC別手術の有無別件数を棒グラフで示す

Lesson5：65歳未満および65歳以上の患者における入院中の大腿骨骨折の発生率を集計

Lesson7：DPC6桁別症例数トップ5の患者数、平均年齢、平均在院日数を集計し、バブルチャートで示す

2日目（地域での立ち位置を確認しよう！）

1日目のまとめ

厚生労働省の公開データを活用する

Lesson 1：県内および同規模医療機関におけるMDC別平均在院日数の比較

分析に必要なデータ

配布したUSBデータは以下のようになっていますか？

本プログラム用に書籍を抜粋しています。

- テキスト
- 各種マスタ類
- 厚生労働省公表データ
- DPCデータ分析概論1自院分析編.pdf
- DPCデータ分析概論2地域分析他.pdf
- DPC調査対象病院リスト.xlsx
- FF1_demo.txt
- FF1_demo.xlsx
- FF1_demo_done.xlsx
- H25実施説明資料.pdf
- H28実施説明資料.pdf
- お助けファイル_1日目.txt
- お助けファイル_2日目.txt

分析用関数をまとめたテキストデータ

各種マスタ類フォルダ

- スタチンマスタ.xlsx
- 後発医薬品のある先発医薬品マスタ.xlsx
- 抗生物質マスタ.xlsx
- 重症度マスタ.xlsx

厚生労働省公表データフォルダ

- 1-14在院日数の差の平均の差MDC別.xls
- 2-4救急車による搬送の有無の医療機関別MDC別集計.xls
- 参考資料2(8)疾患別手術別集計_MDC06-2.xls
- 施設概要表.xls
- 平成28年度機能評価係数Ⅱの内訳.xlsx

DPCコード体系 (14桁の意味をもった数値)

①主要診断群 = MDC
 (Major Diagnostic Category)
 18の疾病群に分かれる

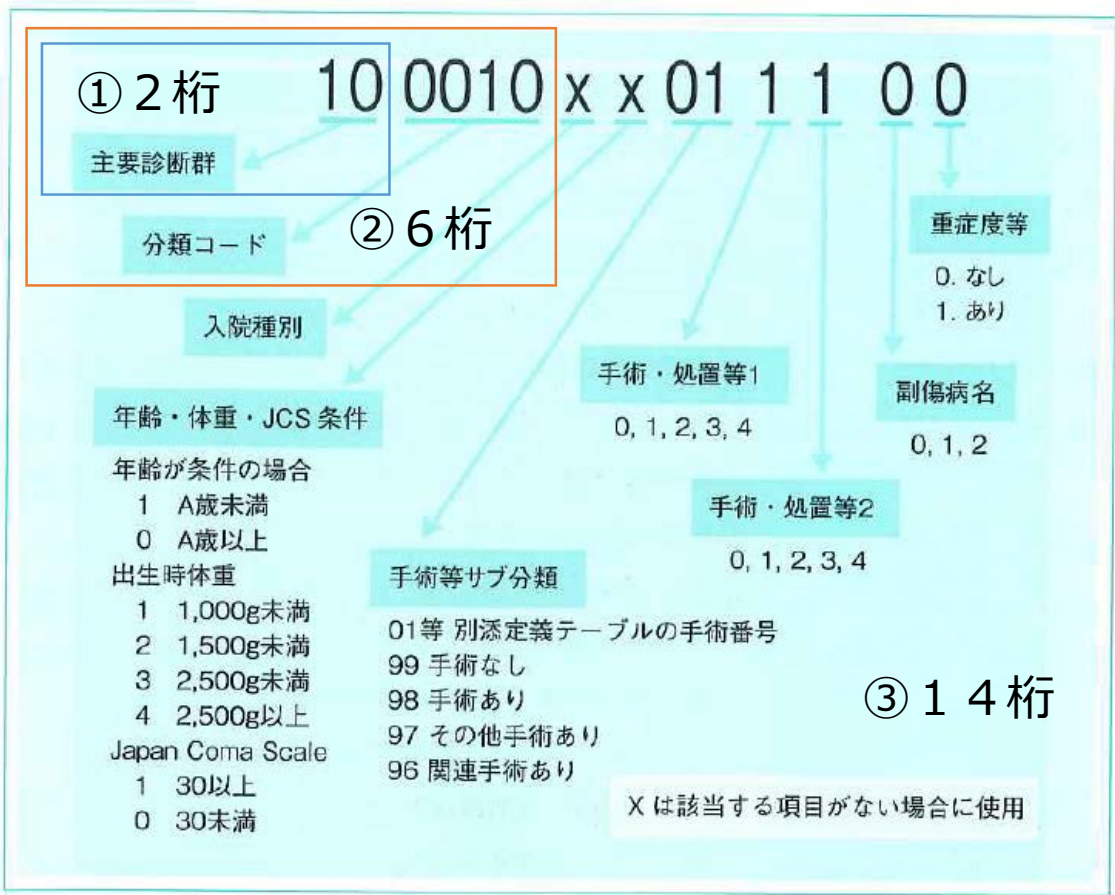
MDC	MDC名称
01	神経系疾患
02	眼科系疾患
03	耳鼻咽喉科系疾患
04	呼吸器系疾患
05	循環器系疾患
06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
07	筋骨格系疾患
08	皮膚・皮下組織の疾患
09	乳房の疾患
10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患
11	腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患
12	女性生殖系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
13	血液・造血器・免疫臓器の疾患
14	新生児疾患、先天性奇形
15	小児疾患
16	外傷・熱傷・中毒
17	精神疾患
18	その他

②病名 = ICD-10に対応

③DPC 14桁

どのような診断でどのような医療行為を行ったかの組合せ

※電子点数表で確認できる



- 年齢・体重・JCS条件
- 年齢が条件の場合
- 1 A歳未満
 - 0 A歳以上
- 出生時体重
- 1 1,000g未満
 - 2 1,500g未満
 - 3 2,500g未満
 - 4 2,500g以上
- Japan Coma Scale
- 1 30以上
 - 0 30未満

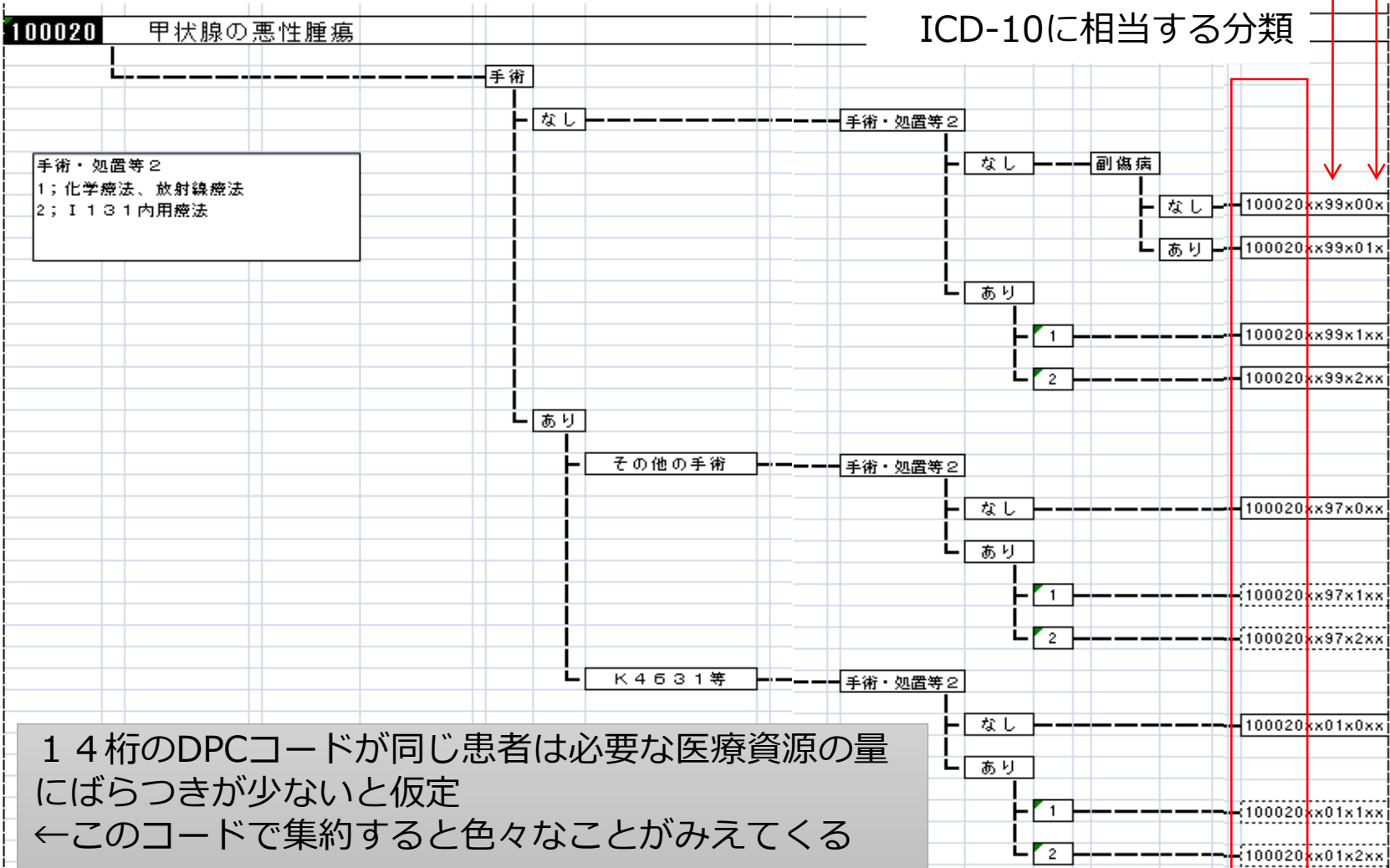
- 手術等サブ分類
- 01等 別添定義テーブルの手術番号
 - 99 手術なし
 - 98 手術あり
 - 97 その他手術あり
 - 96 関連手術あり

5-1 DPCコードの構成

2, 8 7 3 分類の軌跡 (樹形図)

特定の処置の有無

特定の手術の有無



手術・処置等2
1; 化学療法、放射線療法
2; I131内用療法

医療資源
少ない

医療資源
多い



1 4桁のDPCコードが同じ患者は必要な医療資源の量にばらつきが少ないと仮定
←このコードで集約すると色々なことがみえてくる

CCPマトリックスの導入によるDPCコード数の変化

平成28年度診療報酬改定

算定ルールの見直し(5)

診断群分類点数表の見直し

➤ 診断群分類の見直しを行い平成28年度改定においては以下の通りの分類となった。

改定時期	MDC数 (※1)	傷病名数	DPCコード (総数)	うち包括対象 DPC数(※2)	支払い分類 (※3)
平成15年4月	16	575	2,552	1,860	
平成16年4月	16	591	3,074	1,726	
平成18年4月	16	516	2,347	1,438	
平成20年4月	18	506	2,451	1,572	
平成22年4月	18	507	2,658	1,880	
平成24年4月	18	516	2,927	2,241	
平成26年4月	18	504	2,873	2,309	
平成28年4月	<u>18</u>	<u>506</u>	<u>4,918</u>	<u>4,244</u>	<u>2,410</u>

※1 MDC: Major Diagnostic Category 主要診断群

※2 改定時点で包括対象となっているDPC数

※3 CCPマトリックスを導入した分類においては、複数の診断群分類番号が同一の支払い分類となっている。

DPC調査データの概要

内容		様式の名称	
患者別匿名化情報	診療録情報	様式 1 Hファイル	
	診療報酬請求情報	医科点数表による出来高情報（全患者）	EFファイル
		診断群分類点数表により算定した患者に係る診療報酬請求情報	Dファイル
		医科保険診療以外のある症例調査票	様式 4
施設調査票（平均在院日数、病床利用率）		様式 3	

■平成28年度「DPC導入の影響評価に係る調査」 実施説明資料

http://www.prrism.com/dpc/setumei_20160401.pdf

■平成26年度「DPC導入の影響評価に係る調査」 実施説明資料

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000046158.pdf>

■平成24年度退院患者調査の結果報告について
厚生労働省中医協DPC分科会資料

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000023522.html>

Administrative databaseとしてのリンケージ

平成23年度より統合

様式 1	Eファイル	Fファイル
施設コード	施設コード	施設コード
データ識別番号 (患者)	データ識別番号 (患者)	データ識別番号 (患者)
退院年月日	退院年月日	退院年月日
入院年月日	入院年月日	入院年月日
患者属性	データ区分番号	データ区分番号
入院情報	順序番号	順序番号
診断情報	行為点数	行為明細番号
手術情報	行為薬剤料	レセプト電算コード
診療情報	行為材料料	行為明細点数
DPCコード	行為回数	行為明細薬剤料
Dファイル	実施年月日	行為明細材料料

引用) 伏見 2010.12.05セミナー資料

テキストの付録を確認しよう!!

DPCデータの認識違い

- 第1章 自院のDPCデータを活用する

- DPC参加病院が厚労省に提出するデータ形式

- 様式1、EFファイルを利用（デモデータ）

- （伏見研究班の研究参加病院のもの約1,000病院）

- 第2章 厚生労働省のDPC公開データを活用する

- DPC参加病院が提出したデータを、行政側で集計したデータ。

- これは生のDPCデータではない。

DPC調査データで出来ること

病院経営の視点

- 出来高と包括の請求額を比較し、**無駄を洗い出す**
- 他施設と比較して**自院の立ち位置**（患者構成）を確認する。

政策提言の視点

- 診療報酬の改訂について要望する際に、DPCデータの分析を活用する。
- 診療報酬点数は、データの蓄積により分析され、決定される。

研究の視点

- 診療行為の評価・健全経営の為には、**提供する医療サービスの質**が高いことが大切、と考える経営者もいる。
- 薬剤疫学研究/臨床疫学研究

病院経営の視点

・診療機能分析レポート（国立病院機構本部）より 後発医薬品の使用状況

図表 実績 -18 後発医薬品のある先発医薬品薬価累積順位一覧（入院 / 上位 10 位）

順位	後発医薬品がある先発医薬品名	薬価総額	数量	患者数	142病院での順位
1	グランシリンジM300 300 μ g 0.7mL	12,218,298	519	49	15
2	メロベン点滴用バイアル0.5g 500mg	11,313,153	9,491	260	1
3	ペルジピン注射液25mg 25mL	10,172,360	6,710	533	61
4	1%ディプリバン注-キット 500mg 50mL	7,352,352	3,528	1,871	11
5	パーヒューザミン注	6,570,414	23,533	104	8
6	注射用マキシピーム1g	5,216,833	5,580	209	14
7	グランシリンジ150 150 μ g 0.6mL	4,765,510	252	29	22
8	プログラフカプセル1mg	4,372,256	5,409	93	19
9	キロサイドN注1g	4,322,697	373	46	24
10	セファメジンa点滴用キット2g（生理食塩液100mL付）	3,714,624	3,225	404	173

※★：年度中に後発医薬品が発売となった先発医薬品

病院経営の視点

- 診療機能分析レポート（国立病院機構本部）より医療資源投入量の違いを明らかにする。

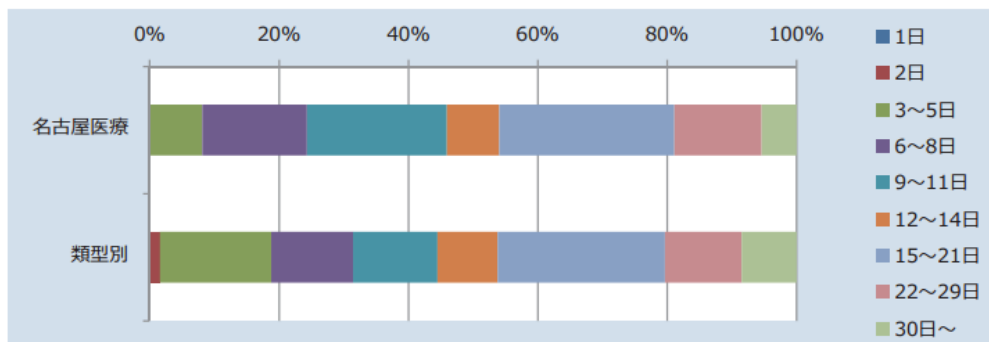
図表VII-3 基本情報（040040xx9907xx 肺の悪性腫瘍）

		患者数	平均在院日数	投薬	注射
名古屋医療	H24年度	37	14.6	1,601.7	34,195.3
	H23年度	34	15.8	1,109.9	47,440.6
●●病院		325	7.7	2,022.1	34,701.1
▲▲病院		254	14.9	2,922.9	34,595.5
××病院		143	11.2	5,220.6	35,093.3
類型別		38.9	15.1	1,848.5	34,858.9
110病院		27.1	14.6	2,366.2	36,061.7
【参考】がん拠点病院（37病院）		38.4	15.4	1,919.4	35,864.0

患者像は均一

注射料はあまり違くないが、投薬料が大きく違っているのはなぜ？

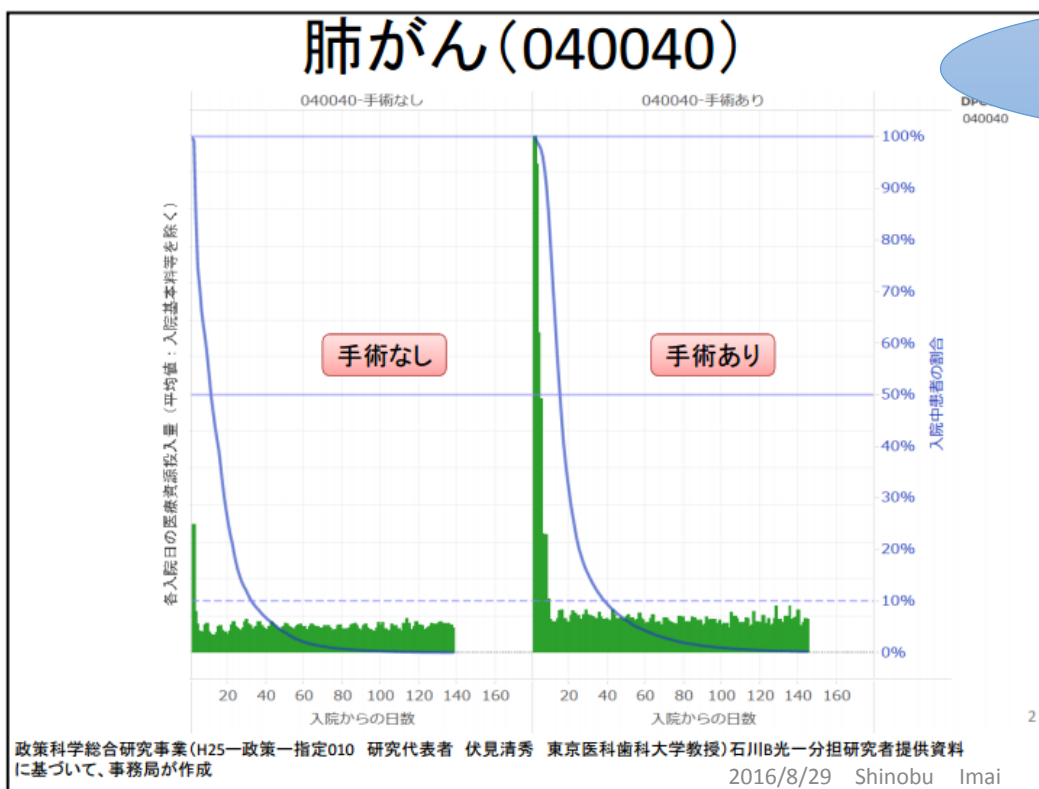
図表VII-4 在院日数分布（040040xx9907xx 肺の悪性腫瘍）



他病院は3~5日で退院しているのに、うちは6~8日以上診療にかかっている？

政策提言

- D P C 研究班（伏見班）で厚生労働省に提出するデータを同じものをおよそ1, 0 0 0病院より提供していただき、政策への提言を行っている。



支払い側と診療側が同じ
データを持っている

医師の団体
病院の団体などが、同様の分
析を行い、政策提言に。
D P C データによる容易な分
析。
透明性のある政策提言

診療行為の評価研究

我が国の外科手術における 抗菌薬予防投与の適正使用要因の検討

- 外科手術を行った入院患者のデータベースを用い抗菌薬の予防投与ガイドライン遵守の要因を検討した。

結果

- ガイドラインに則さない使用

Inguinal hernia repair

(薬剤選択 16%、投与日数 32%)

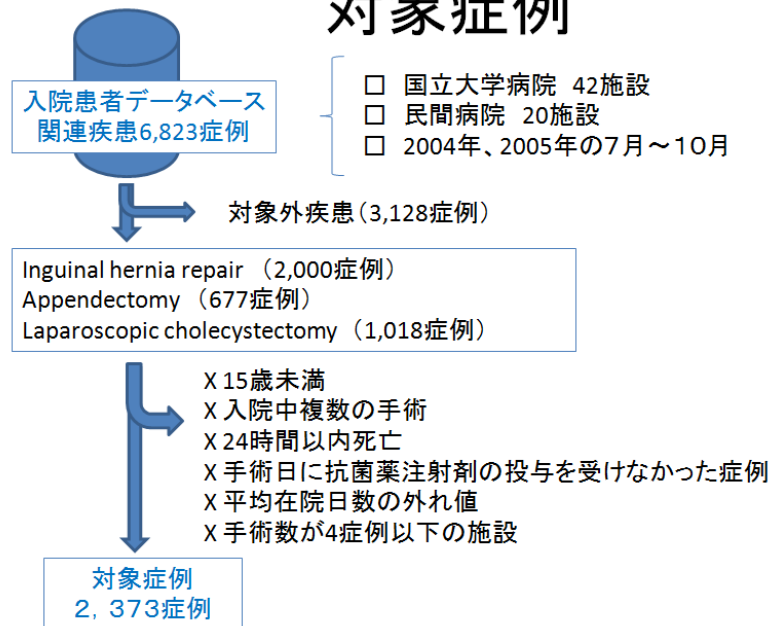
Appendectomy

(薬剤選択 20%、投与日数 44%)

Laparoscopic cholecystectomy

(薬剤選択 47%、投与日数 62%)

対象症例



診療行為の評価/経営視点

臨床評価指標 (国立病院機構本部)

7

人工関節置換術/人工骨頭挿入術における手術部位感染予防のための抗菌薬の術後3日以内の中止率

計測対象

分子

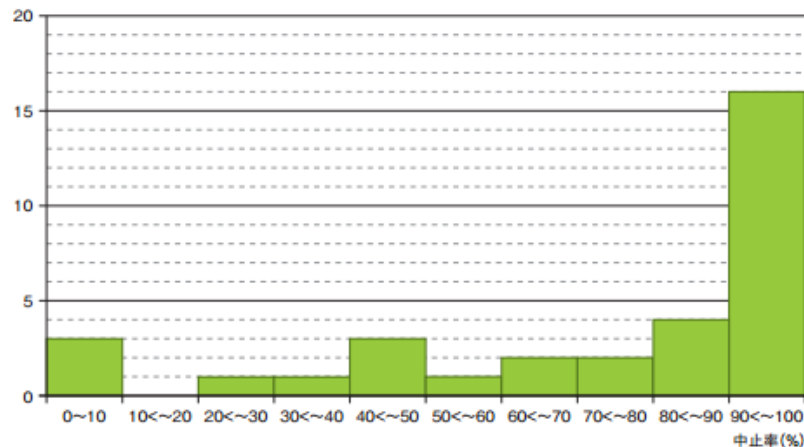
分母のうち、術日以降に抗菌薬が予防的に投与され、手術当日から数えて3日以内に抗菌薬投与が中止された患者数

分母

人工関節置換術/人工骨頭挿入術が施行された退院患者数

- 抗菌薬の予防的投与により、術後の感染症の発生率を低下させることができます。
- ただし、長期間にわたる予防的抗菌薬投与は、抗菌薬耐性菌による感染症の誘発につながります。
- このため、予防的抗菌薬の投与期間として、少なくとも術後3日以内に中止することが求められます。
- 分母には、予防的抗菌薬が投与された患者さんのうち、術後に感染症を発症した患者さんも含まれます。術後感染症の治療のために、予防的抗菌薬を他の抗菌薬に切り替え、継続的に投与された患者さんは、分子としてカウントしていません。

該当病院数



施設名	分母	分子	中止率
仙台医療	15	15	100.0%
水戸医療	56	26	46.4%
西埼玉中央	50	17	34.0%
埼玉病院	63	14	22.2%
千葉医療	65	1	1.5%
東京医療	163	155	95.1%
災害医療	51	22	43.1%
横浜医療	33	33	100.0%
甲府病院	14	14	100.0%
信州上田医療	13	13	100.0%
金沢医療	35	34	97.1%
静岡医療	15	13	86.7%
名古屋医療	231	223	96.5%
三重中央医療	79	77	97.5%
京都医療	90	73	81.1%
大阪医療	376	344	91.5%
大阪南医療	163	135	82.8%

施設名	分母	分子	中止率
神戸医療	13	8	61.5%
姫路医療	44	2	4.5%
米子医療	15	15	100.0%
岡山医療	226	167	73.9%
呉医療	77	69	89.6%
福山医療	208	207	99.5%
東広島医療	26	17	65.4%
関門医療	23	11	47.8%
岩国医療	20	11	55.0%
四国医療	10	0	0.0%
九州医療	174	160	92.0%
福岡東医療	19	14	73.7%
福岡医療	68	65	95.6%
長崎医療	146	145	99.3%
熊本医療	172	170	98.8%
別府医療	33	31	93.9%

分析に必要なデータ

配布したUSBデータは以下のようになっていますか？

本プログラム用に書籍を抜粋しています。

- テキスト
- 各種マスタ類
- 厚生労働省公表データ
- DPCデータ分析概論1自院分析編.pdf
- DPCデータ分析概論2地域分析他.pdf
- DPC調査対象病院リスト.xlsx
- FF1_demo.txt
- FF1_demo.xlsx
- FF1_demo_done.xlsx
- H25実施説明資料.pdf
- H28実施説明資料.pdf
- お助けファイル_1日目.txt
- お助けファイル_2日目.txt

分析用関数をまとめたテキストデータ

各種マスタ類フォルダ

- スタチンマスタ.xlsx
- 後発医薬品のある先発医薬品マスタ.xlsx
- 抗生物質マスタ.xlsx
- 重症度マスタ.xlsx

厚生労働省公表データフォルダ

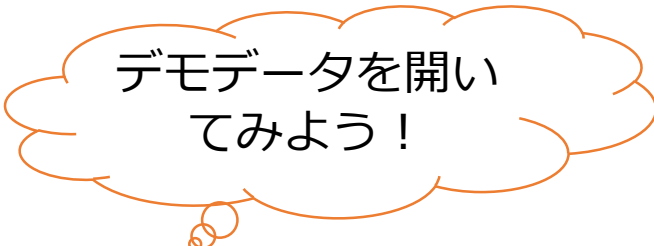
- 1-14在院日数の差の平均の差MDC別.xls
- 2-4救急車による搬送の有無の医療機関別MDC別集計.xls
- 参考資料2(8)疾患別手術別集計_MDC06-2.xls
- 施設概要表.xls
- 平成28年度機能評価係数Ⅱの内訳.xlsx

DPCデータの構成

- 本日のデモデータは、様式1です

	構成単位	注意事項
様式1 (FF1) (患者情報)	1 データ = 1 入院単位 (横持ち)	再入院の患者は複数行になる。 H26年度より形式が変更 当月の退院患者のみ
EFファイル (診療行為情報)	1 データ = 1 実施単位 ※朝、夕2回注射を1本ずつ = 同じ実施日に同じ注射が2 データ存在する (縦持ち)	全てのレセプトオーダーが含まれる ため、膨大なデータ数となる。 対象を絞り込んでから分析する。 当月診療行為の実施日全て
Dファイル (請求情報)	1 データ = 1 実施単位 (縦持ち)	DPCコード以外は、分析に使われな い。 当月の請求情報全て

様式 1 に慣れる



デモデータを開いてみよう！

仕様書（「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料）を熟読し、各変数の定義を確認する。

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iryohoken/dl/h26_dpc_1.pdf


（USBに同包）

※ 分析するデータに合わせた年度のものを使う

- 病名は何種類入力されていますか？
- 死亡退院はどこに入力されていますか？
- ADLってこれどうやって解釈しますか？

すべて仕様書に書いてあります。

様式 1 に基礎情報を追加する



お助け
ファイル

テキスト P.38~42

- 分析用IDを追加する
- DファイルからDPCコードを挿入する。
- MDCを追加
- DPC 6 桁を追加
- OPE（手術の有無）を追加
- 年齢を計算
- 65才以上高齢者にフラグをたてる。
- 在院日数を計算

ここまでの処理が終わったデータを配布しています。

ピボットテーブルを活用し、 年齢階級別退院患者数をグラフ化する

完成形

- テキスト P.43～P.51

The screenshot shows a pivot table on the left and a horizontal bar chart on the right. The pivot table has '年齢階級' (Age Group) in the rows and '患者数' (Patient Count) in the columns. The bar chart displays the same data, with the 40s age group having the highest count at 10.

年齢階級	患者数
90歳代	3
80歳代	5
70歳代	2
60歳代	3
50歳代	8
40歳代	10
30歳代	7
20歳代	6
10歳代	4
0歳代	4
合計	52

Annotations on the screenshot:

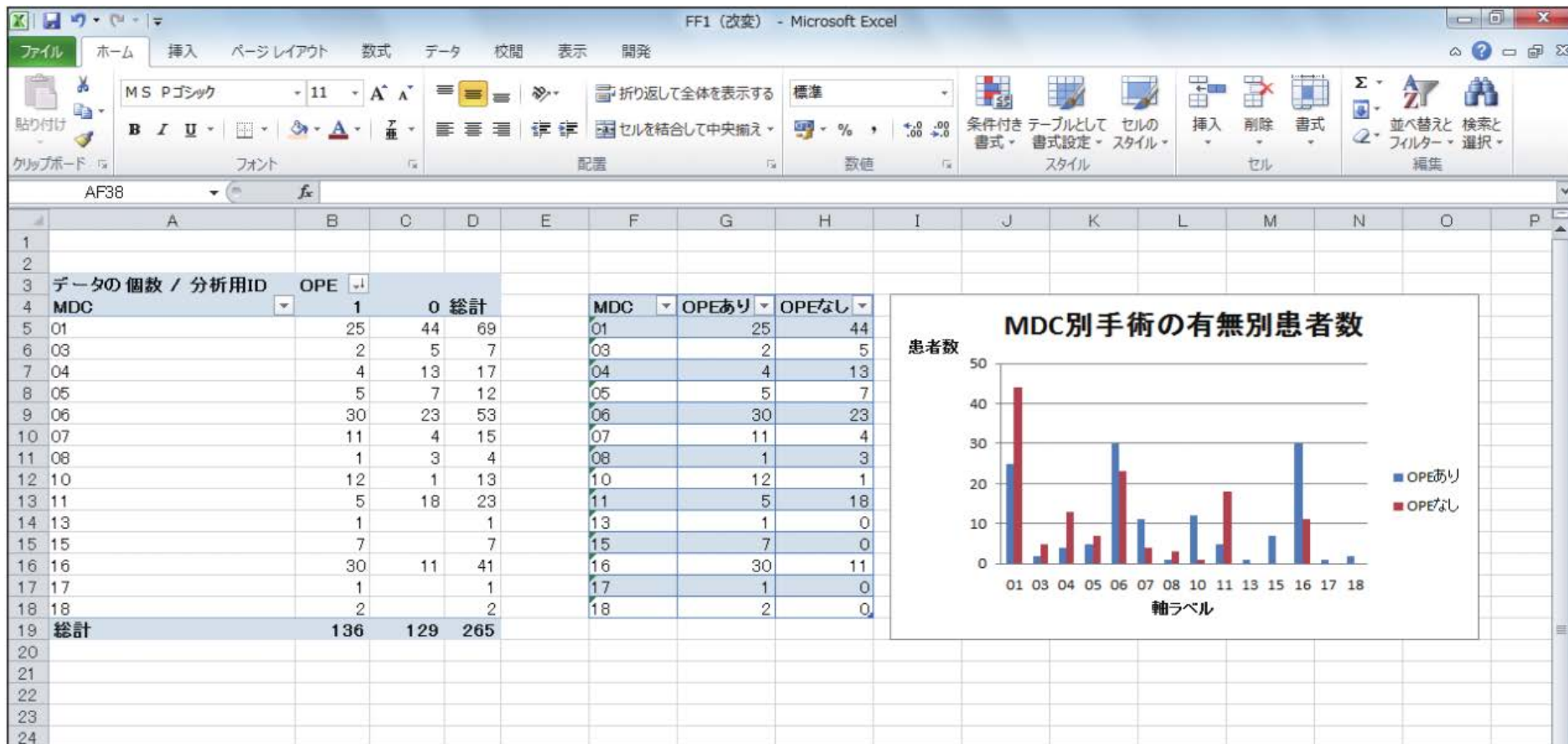
- ① グラフをクリック (Click the chart)
- ② Delete キーを押す (Press the Delete key)

第1章-S2-Lesson1

MDC別手術の有無別件数を棒グラフで示す

完成形

- テキスト P.52 ~ P.57



第1章-S2-Lesson5

65歳未満および65歳以上の患者における入院中の大腿骨骨折の発生率を集計

完成形

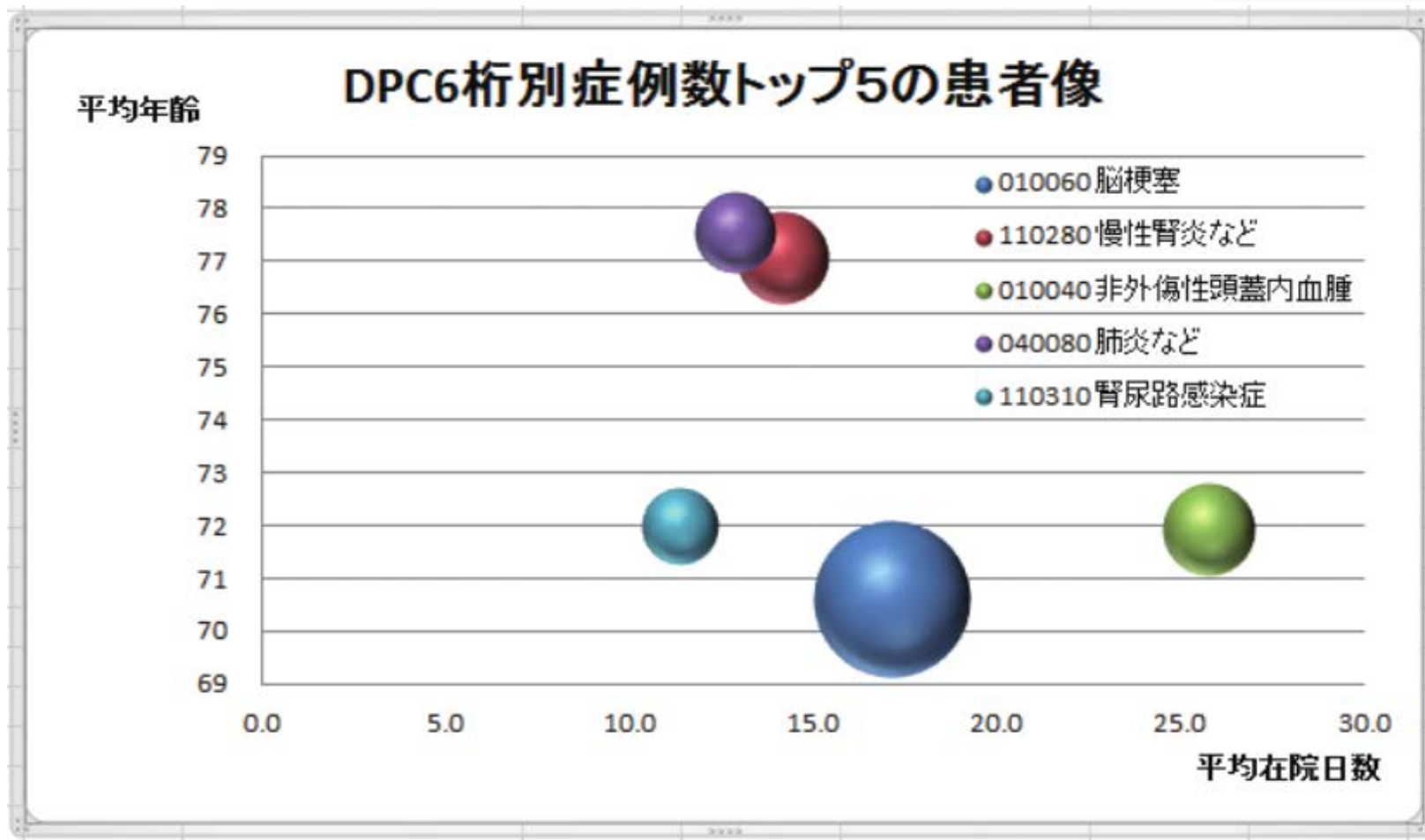
• テキスト P.71 ~ P.79

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	大腿骨骨折の患者数				65歳以上の高齢患者における入院中の大腿骨骨折の発生率				
2									
3		65歳未満	65歳以上			大腿骨骨折		計	
4	入院後発症疾患1	1	4			あり	なし		
5	入院後発症疾患2	0	1		65歳未満	1件(0.9%)	108件	109	
6	入院後発症疾患3	0	0		65歳以上	5件(3.2%)	151件	156	
7	入院後発症疾患4	0	0						
8	計	1	5						
9									
10									
11		65歳未満	65歳以上						
12	大腿骨骨折あり	1	5						
13	発生率	0.9%	3.2%						
14	大腿骨骨折なし	108	151						
15	患者数合計	109	156						

DPC6桁別症例数トップ5の患者数、平均年齢、平均在院日数を集計し、バブルチャートで示す

- テキスト P.85 ~ P.96

完成形



付録：分析に必要な豆知識

標準化マスターとは

- マスターとは
- 単にマスターといった場合は企業内データベースなどで処理の基本となるデータを集めたマスターデータのことを指す場合が多い。この用例では特に長音記号を排して「マスタ」と表記する慣習がある。（IT用語辞典）
- 医療用標準マスターとは
- 平成13年から始まった「保健医療情報分野における情報化に向けてのグランドデザイン」のなかで、診療情報の「用語・コード」を標準化することが、アクションプランに盛り込まれ、**一般財団法人医療情報システム開発センター(以下、MEDIS-DC)が9分野10種の標準マスターを開発した。**

- 病名マスター（ICD10対応標準病名マスター）
「病名くん」などフリーソフトで閲覧可
- 手術・処置マスター
Kコード関連 外保連試案
- 臨床検査マスター（生理機能検査を含む）
- 医薬品HOTコードマスター
- 医療機器マスター
- 看護実践用語標準マスター
＜看護行為編＞ ＜手術観察編＞
- 症状所見マスター＜身体所見編＞
- 歯科分野マスター＜病名＞ ＜手術処置＞
- 画像検査

DPCデータの分析では、
これらのコードがレセプト
電算コードと紐付けら
れている事が重要！！

マスターの活用



一般財団法人医療情報システム開発センター

- ・財団案内
- ・賛助会員制度
- ・個人情報保護について
- ・お問い合わせ先
- ・利用上のご注意

MIL Medical IT Link

電子カルテ導入支援
コンサルティング

MEDICSON

保健医療分野の
プライバシー

新着情報

- 2015.04.13 手術・処置マスターver.20150413を公開しました
- 2015.03.20 看護実践用語標準マスター(観察編Ver2.7)を公開しました
- 2015.03.13 臨床検査マスター(Ver2.96)を公開しました
- 2015.01.27 「地域包括ケアと新たな電子認証」セミナー開催(3/7)

事業/サービス

医療情報システム

- ・電子カルテ導入支援コンサルティング
- ・SaaS型ME機器管理システム(MEDICSON)
- ・医薬品情報データベース【添付文書】(JAMES)
- ・一般名処方マスター【医薬品】(MedQ)
- ・周産期電子カルテ等ネットワーク

標準化

- ・標準マスター ▼詳細
- ・医薬品コードシステム
- ・標準病名 (Jアラブ(GANDLS))
- ・診療科別コードシステム【標準病名】(Med-EX)
- ・クリティカルパスライブラリー【医療者用・患者用】
- ・国内外標準化活動への取り組み

セキュリティ

- ・保健医療情報セキュリティマーク(Pマーク)
- ・医療情報システム安全管理評価制度(PREMISS)
- ・医療情報システム監査人試験

一般財団法人 医療情報システム開発センター Medis DC

MEDIS-DC HOTIについて ダウンロード HOT番号検索

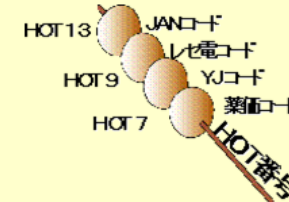
医薬品HOTコードマスター

【概要】

医薬品マスターの基本となる番号は、HOT番号と呼ばれる13桁の管理番号で、電子カルテにおける使用と現在汎用されているコードとの対応付けを目的として作成されたものです。

このHOT番号は既存の4つの汎用コード(薬価基準収載医薬品コード、個別医薬品(YJ)コード、レセプト電算処理用コード、JANコード)との対応表を持っていますので、これらの汎用コードを現在使用している場合には、HOT番号への変換が容易に行えます(使用しているコードにより変換率は異なります)。(図参照)

HOT番号の最大の特徴は、JANコードと1対1であることです。



【特徴】

- 1: 医薬品HOTコードマスター収録の対応するコード体系の概要は以下のとおりです。
 - 1) 薬価基準収載医薬品コード(通称厚生省12桁コード)
薬価単位に設定されている12桁のコード。
コードの構成: 薬効分類(4桁)、投与経路及び成分(3桁)、剤型(1桁)、同一分類内別規格単位数(1桁)、同一規格単位内の銘柄番号(2桁)、チェックディジット(1桁)
 - 個別医薬品コード
薬価基準収載医薬品のうちで一般名収載等の場合において、(1)の薬価基準収載医薬品コードの同一規格単位の銘柄番号(2桁)を併用して構成された13桁のコードとして収録されています。

MEDIS 標準マスター

(一財)医療情報システム開発センターの標準マスター 紹介サイト

TOP 概要 Q & A 用語集

MEDIS標準マスター・インデックス MEDIS Master Index

▶ ご利用になる前にお読みください

医薬品HOTコードマスター

病名マスター (ICD10対応標準病名マスター) (2015.2.27更新)

MEDIS-DCが提供する10分野の標準マスター紹介サイトです

医薬品HOTコードマスター (MEDIS)
<http://www2.medis.or.jp/master/hcode/>

コードそれぞれに意味がある

【特徴】

1:医薬品HOTコードマスター収録の対応するコード体系の概要は以下のとおりです。

1) 薬価基準収載医薬品コード(通称厚生省12桁コード)

薬価単位に設定されている12桁のコード。

コードの構成: 薬効分類(4桁)、投与経路及び成分(3桁)、剤型(1桁)、同一分類内別規格単位番号(1桁)、同一規格単位内の銘柄番号(2桁)、チェックディジット(1桁)

2) 個別医薬品コード

薬価基準収載医薬品のうちで一般名収載等の場合において、(1)の薬価基準収載医薬品コードの同一規格単位内の銘柄番号(2桁)を使用して細分類した12桁のコード。

3) JANコード

個々の医薬品の販売用包装単位ごとに付与されている13桁の統一商品コード。

コードの構成: 国コード(2桁)、企業コード(5桁)、商品アイテムコード(5桁)、チェックディジット(1桁)

4) レセプト電算処理システム用コード

厚生省レセプト電算処理システムに参加する医療機関が審査支払機関に提出する磁気レセプトにおいて使用する9桁のコード。

コードの構成: 区分(1桁)、医薬品ごとに設定された番号(8桁)

薬価基準収載医薬品コード

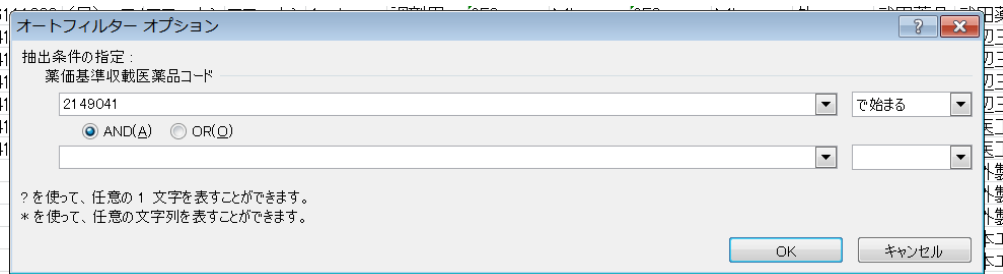
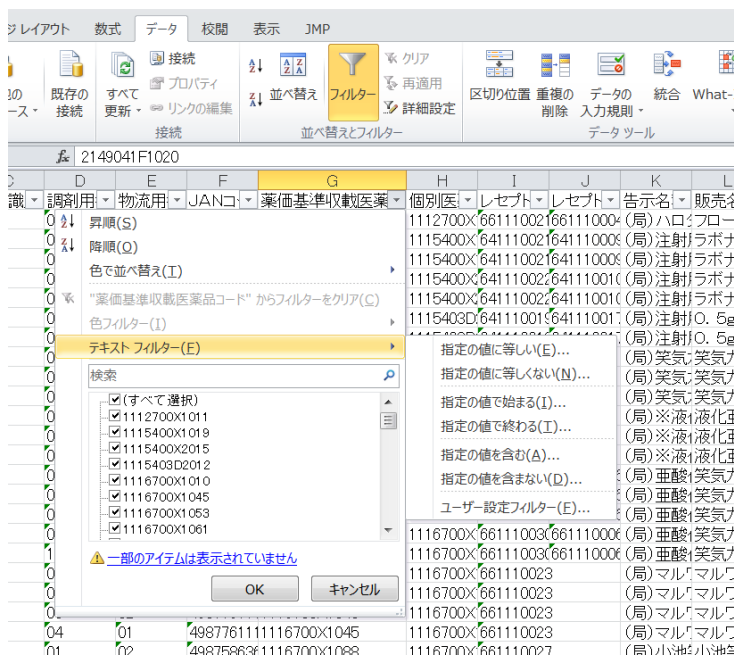
【例】 プロプレス錠2 **2 1 4 9** **0 4 0** **F** **1** **0** **2** **6**

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

- ① 日本標準商品分類コードの87を除いた数字です。
- ② 成分別の番号です。(内服薬:001-399、注射薬:400-699、外用薬:700-999)
- ③ 剤形を表す記号です。(内服薬の場合、A-E:散剤、F-L:錠剤、M-P:カプセル、Q-S:液剤、T,X:その他)
- ④ ①～③によって分類された同一分類内での、規格単位番号です。
- ⑤ 同一規格内での、銘柄別に付けられた番号です。
- ⑥ 誤記入を検索するための番号です。

医薬品のコードに触れてみる

- MEDISのホームページでHOTマスターをダウンロードしてみる。
- 1行目を選択し、フィルタをかける
- 1行目G列「薬価基準収載医薬品コード」のテキストフィルタで、「指定の数値ではじまる」に「2149041」で始めると入れてみる



「薬価基準収載医薬品コード」が「2149041」で始まるのは、 ディオバン錠が12データ

- HOTコードは12種類でユニーク（重複なし）
- JANコードも12種でユニーク
→包装価格単位
- 薬価基準収載医薬品コードは4種
→医薬品の薬価規格単位
- レセプト電算コードは4種
→医薬品の薬価規格単位

薬価収載医薬品コードが2149041の医薬品は、一般名がバルサルタンという医薬品
後発医薬品が存在すれば、12データのみではすまない！！

病名コード（ICD-10）とは

- 疾病及び関連保健問題の国際統計分類：International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems（以下「ICD」と略）
- 現在第10版が流通し、第11版が編纂中
- 電子版

(<http://www.mhlw.go.jp/toukei/sippeii/>)



マスターの活用

病名くん



病名くん <http://www.dis.h.u-tokyo.ac.jp/byomei/index.html>

標準病名マスター作業班

TOP | マスター情報 | 病名検索 | 病名くん | 病名くん2.0 | ふくろうくん |

TOP

病名マスター情報

運用補助マスター

病名くん2.0

病名くん

ふくろうくん

disPACK

病名ツール

ICD11への改訂情報

関連文献・資料

作業班について

オンライン病名検索 簡略版

ICDコードでも検索できます

ICD階層病名ブラウザ

作業班メンバー用ページ

【新着情報】

■ ICD10対応標準病名マスター・傷病名マスター2.93版(2011/3/1)

130病名の追加・20病名削除などの変更があります。

改訂についての詳細はMEDISホームページ または診療報酬情報提供サービスをご覧ください。

→ [マスター情報のページ](#)

■ DPC検索ソフトウェア「ふくろうくん」

平成22年度DPC改訂対応版をリリースしました(2010/8/13)

■ 病名マスター関連ソフトウェア

○病名検索ソフトウェア「病名くん2.0」

「病名くん」の後継ソフトウェアです。病名・修飾語検索機能に加え、ICDコード決定支援などの機能が追加されています。

・2011/3/1 標準病名マスター2.93版同梱版公開

○病名検索ソフトウェア「病名くん」

標準病名マスター・傷病名マスターの病名・修飾語が検索できます。

・2011/3/1 標準病名マスター2.93版マスター同梱版公開

○DPC検索ソフトウェア「ふくろうくん」

病名のICDコードと手術処置等からDPCを検索します。

・2010/8/13 平成22年度DPC改訂対応版公開

病名マスターの内容に関するお問い合わせ・ご要望は、本サイトでは受け付けていません。

MEDISホームページの問い合わせフォーム(<http://www2.medis.or.jp/stdcd/byomei/index.html>)をご利用下さい。

マスターの活用

診療報酬提供



マスターすべてダウンロードする場合

診療報酬情報提供サービス
--- Various Information of Medical Fee ---

[サイト全般に関するページ](#) |
 [レセプト電算処理に関するページ](#) |
 [基本マスターに関するページ](#) |
 [薬剤分類情報閲覧システム](#)

あなたは6949359人目の訪問者です

計画停電等の影響により、サービスが一時的に停止する可能性がございます。

診療報酬情報提供サービスは、医療保険請求に関わるレセプト電算処理システムに必要な情報をご提供するホームページです。

電子点数表につきましては [社会保険診療報酬支払基金のHP](#) をご覧ください。
(平成22年12月24日より、電子点数表のURLが変更になりました)

ダウンロードファイルの圧縮形式は、zip形式のみの提供に変更しました。

平成20年7月1日より、診療報酬情報提供サービスのURLが変更になりました。
<http://www.iryohoken.go.jp>

■ 利用のご案内

医療保険請求に関わる様々な機関が事務を効率的かつ迅速に行えるよう、各種制度改正情報や点数表、薬価基準などの保険請求に必要な各種の情報や磁気レセプト作成のための基本マスターを提供いたします。
ご利用いただけるサービスは以下の通りです。

■ サイト全般に関するページ

お知らせ

更新履歴、新規サービス追加、メンテナンス作業についてなど、ユーザーの皆様に対するお知らせおよび各種トピックが掲載されています。

[利用上の注意・FAQ](#)

データの形式はこのpdfで確認

ファイルダウンロード

このページでは基本マスターの全件データをダウンロードすることができます。
電子点数表につきましては [社会保険診療報酬支払基金のHP](#) をご覧ください。
(平成22年12月24日より、電子点数表のURLが変更になりました)

- ・ダウンロードのヘルプは [こちら](#)
- ・データ内容に関する説明は [こちら](#) (ご利用いただくには [Acrobat Reader\(無料\)](#) が必要です)

ダウンロードしたいマスター名をクリックしてください。

マスター			対象		
マスター名	件数	最終更新日	医科	歯科	調剤
医科診療行為マスター (279KB)	5,697件	平成23年 5月 9日	○	○	
医薬品マスター (686KB)	17,830件	平成23年 5月 20日	○	○	○
特定器材マスター (34.3KB)	968件	平成23年 3月 31日	○	○	○
傷病名マスター (1.02MB)	22,890件	平成23年 3月 1日	○	○	
修飾語マスター (44.8KB)	1,975件	平成23年 3月 1日	○	○	
コメントマスター (8.46KB)	319件	平成22年 4月 1日	○	○	○
歯科診療行為マスター		平成23年 3月 15日		○	
歯式マスター (6.22KB)	895件	平成20年12月24日		○	
調剤行為マスター (4.68KB)	97件	平成22年 9月 22日			○

20年度版のダウンロードは [こちら](#)

診療報酬情報提供サービス (厚労省保険局)

<http://www.iryohoken.go.jp/shinryohoshu/>

マスターの活用

1項目だけ検索する場合

診療報酬情報提供サービス

-- Various Information of Medical Fee --

サイト全般に関するページ レセプト電算処理に関するページ **基本マスターに関するページ** 薬剤分類情報閲覧システム

あなたは11435948人目の訪問者です

診療報酬情報提供サービスは、医療保険請求に関わるレセプト電算処理システムに必要な情報をご提供するホームページです。

平成27年4月6日より、IPアドレスが変更になりました。

電子点数表につきましては [社会保険診療報酬支払基金のHP](#) をご覧ください。
(平成22年12月24日より、電子点数表のURLが変更になりました)

労災レセプト電算処理システムにつきましては [厚生労働省「労災レセプト電算処理システム」のHP](#) をご覧ください。

■ 利用のご案内

医療保険請求に関わる様々な機関が事務を効率的かつ迅速に行えるよう、各種制度改正情報や点数表、薬価基準などの保険請求に必要な各種の情報や電子レセプト作成のための基本マスターを提供いたします。
ご利用いただけるサービスは以下の通りです。

■ サイト全般に関するページ

お知らせ
更新履歴、新規サービス追加、メンテナンス作業についてなど、ユーザーの皆様に対するお知らせおよび各種トピックが掲載されています。

利用上の注意・FAQ
このページでは当ホームページに寄せられたよくあるお問合せと、それに対する回答を掲載しています。

[リンク](#)

2016/8/29 Shinobu Imai

マスター	対象		
	医科	歯科	調剤
医科診療行為マスター	○	○	
医薬品マスター			
特定器材マスター			
場内コマ			
修飾語マスター			
コメントマスター			
歯科診療行為マスター			
歯式マスター			
調剤行為マスター			

・診療行為名称<全角で入力してください>
(例) 初診

・区分番号<記号はプルダウンメニューから、番号は半角数字>

・検査区分

・診療行為コード<半角数字で入力してください>

・告示日

・施行日

・検索結果表示方法(1画面に表示させる件数を選択してください)

100件

検索

マスターの活用

しろぼんねっと



医療事務 保険点数 診療点数 診療報酬 レセプト のこと調べるならしろぼんねっと



平成26年診療報酬点数表

質問掲示板

しろぼんねっと求人

おススメ書籍

広告掲載について

目次

医科診療報酬点数表

医科 目次

第1章 基本診療料

第1部 初・再診料

第2部 入院料等

第2章 特掲診療料

第1部 医学管理等

第2部 在宅医療

第3部 検査

第4部 画像診断

第5部 投薬

第6部 注射

第7部 リハビリテーション

第8部 精神科専門療法

第9部 処置

第10部 手術

第11部 麻酔

第12部 放射線治療

医科 第2章 特掲診療料 第4部 画像診断 第3節 コンピューター断層撮影診断料

E202 磁気共鳴コンピューター断層撮影 (MRI 撮影) (一連につき)

[TOP](#) > [平成26年診療報酬点数表](#) > [医科](#) > [第2章 特掲診療料](#) > [第4部 画像診断](#) > [第3節 コンピューター断層撮影診断料](#) > E202 磁気共鳴コンピューター断層撮影 (MRI 撮影) (一連につき)

E202 磁気共鳴コンピューター断層撮影 (MRI 撮影) (一連につき)

- | | |
|--------------------------|--------|
| 1 3テスラ以上の機器による場合 | 1,600点 |
| 2 1.5テスラ以上3テスラ未満の機器による場合 | 1,330点 |
| 3 1又は2以外の場合 | 920点 |

注